

おのまち夢企画提案のコーナー

このコーナーでは、町政に関する新たな制度の創設や事業の実施など、皆さんの自由な発想からの提案を募集しています。（手紙、ファックス、電子メールなど）

提案については、具体的な事業への反映の可能性などを検討し回答します。内容については、提案趣旨の変わらない範囲で要約をする場合もあります。

今月は、7月中に提案のあった4件の提案についてお知らせします。

小野町町民が全員で「もったいない運動」をしてはいかがでしょうか。「ベルマーク」や「缶ジュースのプルタブ」の回収、その他、知らないものがあるかもしれません。これらの物を町民全員が回収することによって、有効に活用されればと思います。

小野町における「ベルマークの回収」「プルタブの回収」などの取り組みについては、学校や学級、生徒会などで回収を行っている学校もありますが、全体としての取り組みには至っていません。

提言にあるように「ごみ」の中には、資源としての「価値」が残されているものもあります。一人ひとりが資源の大切さに気づき行動できるよう、意識を高める取組が必要と考えます。すぐにできることから始めて、町全体の動きに変えられるよう、新たな視点から取り組みを進めて行きたいと考えています。



小野町に産学官共同でソフト産業を起業して若者が定着して生活できる街にしよう。新しい産業としての組み込み型ソフトの設計会社を起業することで、小野高校からの一貫教育で即戦力になるソフトウェアエンジニアを育成し、競争力のある会社として起業することで、中長期的な雇用を生み出し、町の人口減少、少子化等の問題の一助になるものと期待しています。



ご提言のとおり「ソフト（ソフトウェア）」は、携帯電話をはじめ、テレビ、電話、DVD、カーナビ、テレビゲーム、などの電子機器の中核をなすもので、組み込みソフトウェアは、我が国の産業にとっても重要な役割を有しています。国では産業政策としての組み込みソフトウェア開発力強化に向けた検討を行い、技術力のみならずソフトウェア開発技術者の確保を課題としています。

小野町としては、産学官連携でのソフト産業の振興について、全国の先行事例を調査するとともに、高速交通網、情報通信基盤、人材といった地域資源を活かした産業の育成・誘致の一つの方策として、関係機関などの助言や意見を伺いながら、町として取り組める内容について検討していきたいと思えます。



- ◆担当課
小野町役場企画課
- ◆電話
0247-72-6939
- ◆ファックス
0247-72-3121
- ◆電子メール
kikakuka@town.ono.fukushima.jp

